

山の都(えごま)プロジェクトについて

【団体名】 山都町老人クラブ連合会

地域の現状・課題

山都町の高齢化率は、県下で最も高くなっており、高齢者の健康維持、高齢者の活動の場づくりや仲間づくり、身体機能・健康維持を行っていくことが喫緊の課題である。

そのため、山都町老人クラブ連合会では、地域の高齢者を中心とした「えごまプロジェクトチーム」を発足し、えごまの作付け、えごま油の商品化・販売、SNS等を活用したPR活動等を行う取組みを実施した。

取組概要

(1) えごま作付け

えごま栽培のためのプロジェクトチームを発足し、随時会議を開き、6月～1月にかけて栽培からえごま油生産までを行った。

(2) アドバイザーによる研修会

起業化に向けアドバイザーによる研修会を実施(採算性、販売方法など)。純山都町産の品質の良さをPRし、県の物産館や関東方面での販路を拡大すること等、具体的な提案がなされた。

(3) 身体測定・認知機能効果検証

生産者全員に身体測定とMMSE(認知症テスト)を実施。7月(苗植え付け作業前)と1月(収穫作業後)に実施し、握力や片足立ちで数値に改善がみられ、えごま栽培が体力の維持向上・介護予防に繋がった。

(4) えごま油のPR等

- ・えごま油、えごまの葉を活用した料理を手軽に作れるレシピを作成し、料理教室を実施した。
- ・SNSや町広報誌に作成したレシピを掲載し、えごま油の活用方法を発信。えごま部会を中心に町内病院、介護施設等を訪問し、えごま油のPR活動を行った。



取組成果

○補助事業終了後の取組みの継続

- ・補助事業終了後もえごまの栽培とえごま油の生産及び身体測定・認知機能向上の活動を継続。熊本市内の飲食店等での紹介や、山都町東京事務所を通じたイベント等でえごま油をPRし、県内外での販路拡大に取り組んでいる。

○えごま油の生産・売上状況

- ・R1:1,866本 R2:2,529本
えごま部会を中心に生産管理体制等が構築され増産に繋がった。
- ・R2年売上高1,791,550円
起業化の歩みが着実に進んでいる。

○参加者(高齢者)の満足度

- ・えごま栽培を通じ、作業時に高齢者同士の会話が弾み、えごま栽培・えごま油の生産を楽しみにする声もあり、取り組んでいる方々の満足度が高く、高齢者の生きがいづくりに大いに寄与した。

